

平成25年雲南市議会 3月定例会一般質問通告一覧表

平成25年2月28日

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|------------------|-------------|---|-----|
| 1 | 20 | 小林 眞 二 (一問一答) | 1. 国の政策について | <p>(1) 地方経済の再生に重点が置かれた予算について</p> <p>①11月には速水市政3期目4年がスタートした。12月には、3年ぶりの自民党の復帰により、安倍内閣が誕生し、経済再生に向けた大型予算となったが、速水ビジョン総仕上げ3期目の政策実現にどのような影響を及ぼし、また、まちづくりに向かわれるのか。所見を問う。</p> <p>(2) 竹島の領土権確立の取組みについて</p> <p>①尖閣諸島や北方領土、そして竹島の領有権は長期に渡って政治上の問題となっている。領土問題は、国の専権事項とはいえ、島根県は本年、「竹島対策室」を設けるなど、積極的に取り組んでいる。また、県内8市の市議会議長会においては、国への要望事項に、本年度は「竹島の領土権確立と周辺海域の安全操業の確保について」を採択した。今年も2月22日に「竹島の日」の式典があった。市長として現時点での見解を問う。</p> <p>(3) TPP(環太平洋経済連携協定)について</p> <p>①TPP参加問題は、政界、各党、各団体などで意見も2分しているところだ。政府においては、参加の方向で進められようとしている。市長は本会議・一般質問でも「反対」との事であったが、現状をどのようにとらえ、今後、対応されるのか見解を問う。</p> | |

| | | | | | |
|--|--|--|---|---|--|
| | | | <p>2. 教師の体罰について</p> <p>3. 通学路安全対策について</p> <p>4. 島根原発 30 キロ圏への避難訓練について</p> | <p>(1)生徒間の「いじめ」が起因しての自殺が問題化し、大きくクローズアップされた「大津いじめ事件」に引き続き、今度は大阪市立桜宮高校で教師の体罰により、再び悲劇が起きた。</p> <p>①教師の体罰についての見解は。</p> <p>②市内での現状は。</p> <p>③スポーツ指導者像はどうあるべきか。また、防止対策を含めて問う。</p> <p>(1)2月に12月議会の報告会を大東町春殖地区で開催した。以前からの要望事項の中の1つで、市道立南線加勢崎付近の歩道の未整備について指摘を受けた。後日、現場を視察すると、途切れた約20mの区間であったが、通学路の整備は子供達の安全対策の最低の要件ではないのか。</p> <p>①市内における通学路の未整備箇所の現状は。</p> <p>②今後の対策とスケジュールは。</p> <p>③児童・生徒に係わる通学路の防犯灯、あるいは、街路灯の設置状況は。特に、山間地域での安全対策は万全なのか。</p> <p>(1)島根・鳥取両県と松江・出雲・雲南・安来・米子・境港の6市とで、原発事故に備えた原子力防災訓練が1月26日に開催された。住民約800人が参加した初めての30キロ圏外への避難訓練であったとの事であるが、その結果について問う。</p> <p>①安全な住民避難には、多くの課題が露呈したとされるが、どんな課題が浮かび上がったのか。</p> <p>②この訓練結果をどのように生かし、対策を講じる必要があると思われるか。</p> <p>③災害時に自力で避難できない高齢者や障がい者の対策や支援</p> | |
|--|--|--|---|---|--|

| | | | | |
|---|----|-----------------|---|--|
| | | | <p>のあり方も大変重要な問題だ。現行の個人情報保護条例の中で対応しきれるか。</p> <p>④島根県は、原発の防災学習用教材を島根原発 30 キロ圏内の松江、出雲、安来、雲南 4 市の小中学校と特別支援学校の全児童・生徒に配布されたと聞かすが、本市においては、どのように活用し、学習に役立てているか。</p> | |
| | | | <p>5. P M2.5 について</p> <p>(1)大気汚染が深刻な中国から「PM2.5」の飛来が懸念される。1月31日には、浜田市において42.3マイクログラムが観測されたと発表された。この物質は、肺がんの発病原因や呼吸器系や脳、心臓の疾患も増加する危険性があると言われている。</p> <p>①雲南市としては、この環境被害をどのように認識しているのか。</p> <p>②雲南市民への広報活動や対策はどのように講ずるのか。</p> | |
| 2 | 19 | 堀江 治之 (一問一答) | <p>1. 道路施設の点検管理と維持修繕について</p> <p>昨年12月中央自動車道笹子トンネル(山梨県)の天井板崩落事故以来ライフラインの老朽化に対する関心が強くなり、国においても防災・安全に対して、予算拡充の方針が打ち出されたところです。そこで</p> <p>(1)トンネル(隧道)の点検管理と維持修繕について</p> <p>①これまでの道路トンネルの点検管理と維持修繕の現状は。</p> <p>②今後の点検管理と維持修繕の方針は。</p> <p>(2)橋梁の点検管理と維持修繕について</p> <p>①これまでの道路橋梁の点検管理と維持修繕の現状は。</p> <p>②長寿命化を含め今後の点検管理と維持修繕の方針は。</p> <p>(3)道路の舗装等の点検管理と維持修繕について</p> | |

| | | | | | |
|--|--|--|---|--|--|
| | | | <p>2. 通学路の安全点検について</p> <p>3. 高速道路供用開始について</p> | <p>①これまでの道路の舗装等の点検管理と維持修繕の現状は。</p> <p>②今後の点検管理と維持修繕の方針は。</p> <p>(4)その他、看板・街灯等の点検管理と維持修繕について</p> <p>①これまでの看板・街灯等の点検管理と維持修繕の現状は。</p> <p>②今後の点検管理と維持修繕の方針は。</p> <p>(1)通学路の安全点検実施について</p> <p>①通学路の安全点検の実施状況は。</p> <p>②安全点検の実施結果により、道路の改良・安全施設の設置等の必要な箇所があったのか。</p> <p>③今後の対応方針は。</p> <p>いよいよ、3月30日中国横断自動車道尾道松江線が中国縦貫道に接続供用開始となるが、その効果としての、企業立地・観光振興・地域振興についての現状と対応方針について伺う。</p> <p>(1)企業立地について</p> <p>①高速道路開通供用開始に向けて、これまで取られてきた企業立地の現状は。</p> <p>②今後の企業立地に対する対応方針は。</p> <p>③企業立地促進助成の見直し拡充の考えはないか、また助成対象業種の拡充見直しの考えはないか。</p> <p>(2)観光振興について</p> <p>①これまで取られてきた観光振興の現状は。</p> <p>②観光施設・アクセス道・宿泊施設等の整備、集客方策等今後の観光振興に対する対応方針は。</p> | |
|--|--|--|---|--|--|

| | | | | | |
|---|---|----------------|---|---|--|
| | | | | <p>(3)雲南省の振興発展について</p> <p>①高速道路活用による振興発展のための、今後の対応方針は。</p> | |
| 3 | 2 | 中村 辰眞 (一 括) | <p>1. PM2.5 について</p> <p>2. いじめ、体罰について</p> | <p>(1)PM2.5（微小粒子状物質）の説明と環境基準について</p> <p>①中国からきていると言われるPM2.5とはどんなものか。(分かりやすい説明を求める)</p> <p>②国が示す環境基準は。</p> <p>(2)被害と対策について</p> <p>①呼吸器に与える影響と対策は。</p> <p>②農作物に与える影響と対策は。</p> <p>③経口摂取した時の体内に与える影響と対策は。</p> <p>(3)注意喚起の方法について</p> <p>①市長は所信表明の中で、市のホームページやデータ放送で情報提供をするといっているが、多客期の注意報・警報を迅速かつ広範囲に告知する事が必要と考えるがどうか。</p> <p>(1)いじめについて</p> <p>①いじめが発生する原因をどのように考えているか。</p> <p>②所信の中にある「小中学校の管理職を対象にいじめの未然防止、早期発見に向けた研修会」とはどのような内容だったか。</p> <p>③いじめに対するアンケートを実施するようだが、対象はだれか。</p> <p>④いじめた方、いじめられた方両方に向けてのケアはどのようにするのか。</p> | |

| | | | | | |
|--|--|--|----------------------------|--|--|
| | | | <p>3. 出雲養護学校高等部分教室について</p> | <p>(2) 体罰について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 体罰とは、暴力だけを指すのか。 ② 子供たちにランクをつけている教師の存在を耳にするが、これも体罰ととらえる事ができるか。 ③ いじめも体罰も教育委員会・学校・保護者・子供と相互の関わり合いが大事になると考えるが見解は。 <p>(1) 建設予定地について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 12月に市に譲渡された建設予定地はどこか。 ② 市の所有地に県が建築することになるか。 <p>(2) 市教委の対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 12月に実現する会の皆さんが県庁に要望に行かれたことを知っているか。 ② 隣接する三刀屋福祉センターの活用を提案したが、要請があれば利用可能か。 ③ 県の事業であるが、市教委が市民の意見を取りまとめる窓口となり、県への要望あるいは県からの情報を市民側へ返すことはできるか。 ④ 地方自治法では県と市の関係は対等とある。市としての要望・意見をしっかりと確実に伝えていってほしいと考えるがどうか。 | |
| | | | <p>4. 火災見舞金制度について</p> | <p>(1) 先般、木次町内で発生した火災で罹災された方々へ、市からの見舞金はなかったと聞くが、雲南市として罹災者に対しての見舞金制度を制定してはどうか。</p> | |

| | | | | | |
|---|---|-----------------|--|---|--|
| | | | <p>5. 期日前投票宣誓書について</p> <p>6. 市民税の支払い方について</p> <p>7. 廃校舎の活用について</p> | <p>(1) 昨年から投票所が削減され、投票日当日には30分以上の待ち時間ができた投票所が見られた。このことから期日前投票の有効性を考える。しかし、宣誓書を書く手間があり、敬遠する有権者も多い。宣誓書を投票所入場整理券（はがき）の裏に印刷するとか、市のホームページからダウンロード出来るようにしてはどうか。</p> <p>(1) 市税の徴収率を上げるために、支払いの選択肢に従来のものに加え、コンビニでの支払いを考えてはどうか。</p> <p>(1) 廃校舎を中心とした地域サマースクール開催を提案する。 ①市内の廃校舎を利用して夏休みに合宿形式のサマースクールを開催してはどうか。特に県外都会地の子供たちに、虫取り、川での魚釣り、農業体験、満天の星空の下でのキャンプファイヤーなど自然と触れ合う機会をつくり、地元の子供たちとの交流を考えてはどうか。</p> | |
| 4 | 3 | 原 祐 二 (一問一答) | 1. 男女共同参画について | <p>(1) 地域における男女共同参画について</p> <p>①地域での男女共同参画意識の普及状況と成果をどのように検証しているのか。</p> <p>②地域での女性が占める役員割合は向上しているのか。(地域自主組織・自治会など)</p> <p>③女性が地域で活躍するため、女性出席による自治会開催(案)について問う。 (案：年に何度か女性による自治会を実施してみてもどうか)</p> <p>(2) 女性の人材育成について</p> | |

| | | | | | |
|--|--|--|---|---|--|
| | | | <p>2. 地域主権改革について</p> <p>3. 市立病院経営について</p> | <p>①市が設置する審議会等への女性の参画率、女性役員数の推移は。</p> <p>②今後の目標値と人材育成策は。</p> <p>③男女共同参画推進モデルの市役所（一般職）での成果は。</p> <p>※ 35歳以上におけるGL、45歳以上の管理職の割合と人数は向上しているのか。</p> <p>④今後の目標数値と人材育成策は。</p> <p>(3)仕事と家庭の両立支援(ワーク・ライフ・バランス)について</p> <p>①仕事と家庭の両立支援及び女性の積極的改善措置の推進についての成果は。</p> <p>②男性の家庭生活への参画推進についての成果は。</p> <p>③「気づいて築くうんなんプラン」の後半2年間の取り組みは。</p> <p>(1)地域主権改革一括法について</p> <p>①地域主権改革とは何か。地域主権一括法の概要は。</p> <p>②国が定めていた基準等を市で定めることとなる関係法律と移譲事務の件数は。</p> <p>③市における対応案件と未対応案件数は。</p> <p>④市における条例制定の考え方は。</p> <p>⑤市の実情に合わせた具体例は。</p> <p>(1)市立病院経営について</p> <p>①市としての病院経営のあり方と財政支援についてどのように考えているのか。</p> <p>②病院への基準外繰出し金の考え方についてルールを持っているのか。</p> | |
|--|--|--|---|---|--|

| | | | | | |
|---|----|----------------|------------------------------|---|--|
| | | | | <p>(2) 地方公営企業法の全部適用について</p> <p>① 地方公営企業法の全部適用による経営メリットは何か。</p> <p>② 地方公営企業法の全部適用後、職員の意識改革はどう変わったのか。</p> <p>③ 市立病院の建設に向け、経営管理体制と事務部門の強化について問う。</p> <p>④ 今後の経営プランの策定は。</p> | |
| 5 | 21 | 藤原信宏 (一問一答) | 1. 市職員の雇用と年金の接続に関する制度の確立について | <p>(1) 雇用と年金の接続は官民共通の課題である。再任用の義務化を基本とする国家公務員の雇用と年金の接続に関する法案、更には地方公務員法の改正はどうなっているか。国の状況と、再任用の必要性に対する市長の所見を伺う。</p> <p>(2) 雲南市も再任用制度が条例化されている。実際には実施されていないと解するが、その認識は正しいか。そうであれば、それは何故か。</p> <p>(3) 実際に、一部職員を定数外の嘱託職員等に再雇用されている。それはどのような方針で実施されているか。</p> <p>(4) 再雇用された職員の社会保険の加入を含めた賃金体系、待遇はどうなっているか。</p> <p>(5) 雇用と年金の接続に係る再任用を、年金支給年齢の引き上げのスケジュールに連動させ、最終的には65歳までの間、定年退職の</p> | |

| | | | | | |
|--|--|--|-----------------------------|--|--|
| | | | <p>2. 道路の点検、修繕と安全対策について</p> | <p>希望者全員の雇用を確保する制度を確立することについて、市長の所見を伺う。</p> <p>(6) 地方公務員の使用者として、段階的な定年延長の実現に向けて、早期に国の方針を示すよう働きかける考えはないか。</p> <p>(1) 昨年の秋、市内すべての小中学校通学路の一斉点検を行ったと聞いている。その点検結果と対応は。</p> <p>(2) 歩道設置がすぐには困難な道路では、歩道路側帯を確保し、着色をして、運転者の注意喚起と減速を促し、歩行者の安全対策を図ってはどうか。</p> <p>(3) 多部所に渡る修繕箇所を身近な地域の窓口を一元化して、スピーカーに報告する連絡体制を構築・徹底できないか。</p> <p>(4) 示された市道の維持修繕必要箇所は、実施計画の新たな市道修繕事業枠では到底追いつかない。修繕箇所解消を図る補修工事計画の整合性について伺う。</p> <p>(5) 自治会以外の要望により設置された防犯灯も多く、小自治会では防犯灯の維持が大きな負担となっている。不特定多数が通る幹線道路や通学路等の防犯灯維持管理費にあっては、市が負担する、或いは、地域全体でカバーする等の負担方法の見直しを検討する時期にきている。撤去希望の撤去費用を含めた負担見直しの考えは。</p> | |
|--|--|--|-----------------------------|--|--|

| | | | | |
|--|--|-----------------------------------|---|--|
| | | <p>3. 今後の市営住宅管理と土地開発基金の運用について</p> | <p>(1) 今後の市営住宅管理が、なぜ市内の雇用を生まない県の外郭団体「島根県住宅供給公社」への外部委託ありきなのか。</p> <p>(2) 経費の削減には繋がらないとの答弁であった。ならば、市内に資金を落とす市職員の再雇用や広域連合での扱い等、雇用創出の選択肢はなかったか。</p> <p>(3) 本委託においても、市内雇用の創出に繋がりたい。</p> <p>(4) 年度末までに、加茂町金丸団地内公共施設用地を土地開発基金で引き取る予定である。基金は処分困難な土地を塩漬けにする温床ではない。行政施策、公用目的事業のための先行取得であるのか。</p> <p>(5) 今議会に土地開発基金条例の改正案が出されている。異議はないが、処分困難な土地を帳簿価格より安く処分し、土地価格と現金を合わせた基金総額が減るとの理解で良いか。</p> <p>(6) 以後こうした売却手法が乱用されてはならない。今後の取得・処分にあっても、条例設置本来の目的・運用を順守することについての所見を伺う。</p> | |
| | | <p>4. 障害者総合支援法への移行について</p> | <p>(1) 自立支援法違憲訴訟による原告団との基本合意を反故にし、違憲との応益負担を存続して一部改正に留めた総合支援法が4月から実施される。国がやるべきは本法を抜本改正して、障がい者参画のもと、新しい法整備を行う事だと考えるが、市長の見解は。</p> <p>(2) 法施行後も段階を経て改正される予定である。関係者の願いを十分踏まえた改正が行われる様、現状を踏まえ、市長にはしっか</p> | |

| | | | | | |
|---|---|-----------------|--|---|--|
| | | | | <p>りと国に求めていただきたいがどうか。</p> <p>(3)負担の対象となる収入が家族単位となった。配偶者の所得が幾らでどう変わるのか。</p> <p>(4)当事者意見の吸い上げ、生活寮の設置や移動支援等の市の障がい福祉施策充実の考えは。</p> <p>(5)窓口となる市には相当の責任と業務量の増大が見込まれる。それに対応できる体制整備について伺う。</p> | |
| 6 | 7 | 細木 照子 (一括方式) | <p>1. 中国の大気汚染物質の対応について</p> <p>2. 2011年、島根県患者調査結果について</p> | <p>(1)県へ対して雲南市への大気汚染物質の観測所設置を申し入れ、市民によりの確な数値を公表し、より安全な対応に資する考えはないか。</p> <p>①環境省は、過剰反応しないように求めているが2月初旬に福岡市では環境基準値を超えた日が3回もあった。機敏に先手を打つべきと考えるが、どのような判断をしているか。</p> <p>(1)受療割合で雲南圏域が最も多いのは、どのように判断するのか。</p> <p>①受療割合が多いのは、病気の方が多いか、病気を先取的にとらえて積極的な受療からか。</p> <p>(2)入院患者の所在地構成割合が、雲南圏域は隠岐圏域に次いで低いのはどのように判断するのか。</p> <p>(3)外来患者の所在地構成割合が、雲南圏域は大田圏域に次いで低</p> | |

| | | | | |
|--|--|-----------------------------|---|--|
| | | | <p>いのはどのように判断するのか。</p> <p>①入院患者及び外来患者の所在地構成割合が低いのは、雲南市立病院の医師不足等によるものではないのか。</p> <p>(1)農業再生の切り札として国が力を入れるのが、6次産業化。法の環境整備が進むなか、市町村では支援強化の動きが相次ぐ。</p> <p>①雲南市でも、産地直送・産地直轄方式の野菜等の販売が活発である。しかし、内容的には若者が後継する程のものではないと思う。やはり、生産・加工・販売の6次産業化が重要であるが、雲南市はどのような支援体制を考えているか。</p> | |
| | | 3. 農業の6次産業化支援の取り組みについて | | |
| | | 4. 地域自主組織の「地域福祉の位置づけ」指導について | <p>(1)地域自主組織体制の確立について各地区ともに鋭意努力されている。今までも配意を必要としたが、社会福祉協議会が行う「地域福祉」との整合性については、どのような指導を行っているのか。</p> <p>①「社会福祉法第109条」をどのように解釈し、地域福祉の推進を図ることを目的とする社会福祉協議会の推進方針を、地域自主組織にどのような形で取り組むよう指導しているのか。市政懇談会等の中では、その整合性について適切な指導が不足しているように見えるが、どのように判断しているのか。</p> | |
| | | 5. 学校における「いじめ」対応について | <p>(1)12月議会でも、いじめ問題を質問し教育長から心強い答弁を受けた。今、政府でもいじめ対策として、道徳の教科化が提言されたり、模索されている。私は、学校教育の中で、人として必要な、刑法の基本要点をごく簡単に、小学校の児童にも分かるように、年間数時間だけでも解説指導が必要と思うが、判断を伺う。</p> <p>①普通、「刑法」と言うと、大学の法学部あたりで学ぶものだと思うのがちである。ここでは小・中学校で、いじめに関係する条文、例えば、人が嫌がることを無理強いすると〇〇で、△△</p> | |

| | | | | | |
|--|--|--|---------------------------|--|--|
| | | | <p>6. 給食アレルギー事故対策について</p> | <p>のように罰せられる。殴ったり蹴ったりすると〇〇で、△△のように罰せられる。ケガをさせたら〇〇で、△△のように罰せられる。日本にはこのような決まり事があることを、少年法を交えながら指導することはできないか伺う。</p> <p>(1) 昨年末に東京の小学校で、給食の食物アレルギーで死亡事故が発生した。本当に可哀相な事故であったが私は担任の先生一人の対応について、一概に非難できない思いでいる。それくらい食物アレルギー事故対策は大変なものである。</p> <p>①私の家族にも「小麦粉アレルギー」があり、私は20年以上も、その家族の命を守るため食事づくりに厳しい闘いを続けている。小麦粉といっても、うどん、ラーメン、パンなどは見て分かるが、カマボコや野焼きちくわにも小麦が添加されている。チョコレートもメーカーによっては小麦添加がある。もっと怖いのは『米粉パン』にもグルテンとして小麦から作った粘り気を出す物質が添加されている物がある。私の家族は50歳くらいで突然発症するようになり、一度はアレルギー発症で死線をさまいながらも、今も私の点検した料理を、本人が更に点検して事故を防いでいる。小学校の児童では点検が難しいと、給食センターと先生の負担は重い。事故が起こる前に、検討委員会等を立ち上げ、対策を十分にされる考えはないか伺う。</p> | |
| | | | <p>7. カタカナ言葉へのこだわりは何故</p> | <p>(1) 高齢者の中にはローマ字も戦争中には学ぼうとしなかったと言われる。雲南市からも「少子高齢化社会」という言葉が使われ、高齢化率の高い事を知りながら何故にいわゆるカタカナ言葉を使うのか。</p> <p>①いま雲南市内で使われているカタカナ言葉は市民権を得た言</p> | |

| | | | | | |
|---|---|--------------------|--------------------|--|--|
| | | | | 葉だと判断して使っているか。 | |
| 7 | 4 | 矢 壁 正 弘 (一 括) | 1. 雲南市道路維持管理計画について | <p>(1)雲南市内の道路及び付帯構造物（トンネル・橋梁・法面工）の点検パトロールのあり方について</p> <p>①トンネルの天井板又コンクリートの崩落事故が全国的に報道されているが、雲南市としてはどのような点検が行われ、どのような補修・改修がなされているか。</p> <p>②橋梁についても完成より 40 年～50 年経過した施設が多数あり、河床の侵食により根入れの深さが保たれていない箇所、コンクリート劣化で表面のひび割れ等発生している箇所が見受けられるが、どのような点検がおこなわれ、どのような補修・改修がなされているか。</p> <p>③法面のコンクリート吹き付け工についても同様に劣化が進み、国道 9 号線でも、法面の崩落事故が発生したが、雲南市はどのような取り組みがなされているか。</p> <p>④舗装に関してもひび割れ等発生している箇所が多くみられるが、どのような取り組みがなされているのか。</p> <p>(2)雲南市内にある、国道・県道の維持管理の状況について</p> <p>①雲南市内には数多くの国道・県道が走っているが国・県による点検、パトロールがどのように行われ、点検結果がどのように通知されるか。</p> <p>(3)除雪や維持管理業務のあり方について</p> <p>①例年に比較して積雪量も少なく、除雪費用の負担も軽減されたと推測されるが、除雪を含めた必要とされる維持管理業務が速やかに実施されるよう予算執行がなされているか。</p> | |

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| | | | <p>2. 若者へのスポーツの場の提供について</p> <p>3. プレミアム付商品券の効果について</p> <p>4. 街灯・防犯灯の設置条件緩和について</p> | <p>(1)20代前半から30代前半の若者へのスポーツの場及び体力づくり場の提供について</p> <p>①子供・高齢者に向けた娯楽の場及び体力づくりの場は整備されつつあるが、子育て世代の娯楽の場及び体力づくりの場が少ないと思われるが見解は。</p> <p>(1)H. 25. 1. 21より発売が開始されたプレミアム商品券の波及効果について</p> <p>①雲南市民・商工業者の反応はどうであったか。</p> <p>②販売時期が悪かったのではという意見を聞いたがどう思うか。</p> <p>③2次販売時に一人で大量の商品券を購入した方もいたと聞いたが雲南市としてはどのような見解をもっているのか。</p> <p>④商品券は元来お釣りの返還がないので、500円券の発行があれば利便性が向上したものと思われるが、印刷代金など費用等含めて見解はどうか。</p> <p>(1)雲南市内で街灯・防犯灯の設置がなく暗い通学路等の安全な通学を確保するため街灯・防犯灯の設置要綱の緩和について</p> <p>①街灯は防犯灯の役割も果たし、設置代金、使用電気料金がかからず市民から見ればどんどん設置していただきたい設備であるが、設置については条件が厳しくなかなか設置されないのが現状である。設置条件緩和ができないか。</p> <p>②防犯灯は地域自治会からの要請があれば比較的簡単に設置出来るようだが、設置代金、使用電気料金が各自治会負担となるのでなかなか設置に至らないのが現状である。子供たち又、</p> | |
|--|--|--|--|--|--|

| | | | | | |
|---|---|-----------------|-------------------|--|--|
| | | | 5. 合併浄化槽設置普及率について | <p>市民の皆様の安全を確保する上で設置条件の柔軟な融通ができないか。</p> <p>(1) 雲南市の合併浄化槽の普及率について</p> <p>① 雲南市では合併浄化槽が年間 30～50 基で設置整備されているが現在の普及率は。</p> <p>② 合併浄化槽設置は個人の要望で実施され、水洗化等リフォームの必要もあるため、市としてもなかなか踏み込めない点もあると思うが、自然環境の改善の面からも普及率 100 パーセントに近づけるため更なる啓発活動が必要であると思うが見解は。</p> | |
| 8 | 1 | 松林孝之 (一 括) | 1. 地域経済対策について | <p>(1) プレミアム商品券事業について</p> <p>① 地元消費拡大の起爆剤としてはとても期待できる事業。平成 25 年度は継続事業として盛り込まれたが、その後は。</p> <p>② 運用方法に更なる工夫があれば「地域内通貨」としてもっと経済効果を期待できると思うが所見は。</p> <p>(2) 住宅改修促進事業・木造住宅耐震化等促進事業について</p> <p>① 定住環境の整備として魅力ある事業である上、地域の経済効果としても期待したい事業である。ただ平成 24 年度は助成内容の点から利用状況は少し残念な結果であった。平成 25 年度は利用する側からの目線で、多くの市民が活用できるようにすべきでは。</p> <p>② 雲南市実施計画で「木造住宅耐震化等促進事業」は平成 29 年度までの継続事業だが「住宅改修促進事業」は平成 25 年度で事業完了になっているがなぜか。</p> | |

| | | | | | |
|--|--|--|----------------------|---|--|
| | | | <p>2. 公共施設整備について</p> | <p>(3) 雲南市産業集積拠点形成アクションプランについて</p> <p>① 地域経済の振興、雇用促進の面からも無くてはならない企業団地整備である。今後も更なる整備を進めるべきと考えるが今回候補地としてあがった候補地②・候補地③の整備計画は。</p> <p>② 誘致企業の「募集」や「ファーストアポイント」といった面では雲南市商工会や地元企業との連携・情報交換を図るべきと思うが所見は。</p> <p>(1) 新庁舎建設について</p> <p>① 実施設計の段階に入るにあたり、地元業者が施工・納入出来る詳細設計であるべき。近隣市町村の公共施設建設において、都会地との工事単価等の違いにより様々な問題が起きている。想定される課題や問題をどう捉えているのか。</p> <p>(2) 体育施設・文化施設について</p> <p>① 市内各所の体育施設や文化施設は、すべての利用者にとって優しいユニバーサルデザインであるべき。現在の整備状況と今後の整備計画は。</p> <p>(3) 市街地環境整備について</p> <p>① 雲南市都市計画マスタープランにおいて「旧町各中心部に残る密集市街地の改善」とあるなか各6町の連坦地整備計画は必須。災害に強い街づくりの観点からも、総合的に計画すべきであるとする。平成25年度には加茂町の「放課後児童クラブ」の建替えを予定されているが、交流センター周辺(小学校・旧幼稚園跡地・総合センター)を含めての将来を見据えた一体的整備が必要だと考えるが、所見を伺う。</p> | |
|--|--|--|----------------------|---|--|

| | | | | | |
|---|---|-------------------|-------------|--|--|
| 9 | 5 | 白 築 俊 幸 (一問一答) | 1. 林業について | <p>(1)人工林について</p> <p>①雲南市における造林地の割合及び所有者割合は、どのようになっているのか。</p> <p>②造林については、今後、新植、伐採をどのように進めていくのか。</p> <p>③人工林以外の天然林、いわゆる雑山は、どのような活用が考えられるのか。所見を伺う。</p> <p>(2)天然林いわゆる雑山について</p> <p>①旺盛な繁殖力ではびこる竹対策は。</p> <p>②ナラ枯れの状況、及びその対策は。</p> <p>③マツクイムシ被害は、今、どのような状態にあるのか、またその対策は。</p> <p>④今年から実施されている市民参加型林地残材供給システムについては、目標通りに集材されたのか。またスギ、ヒノキ以外はだめなのか。</p> <p>(3)天然林への路網整備について</p> <p>森林バイオマスの出口サイドと供給サイドを確保しておくことが必要。現在、国・県の補助で行われている路網整備は、基本的には、造林地が対象。</p> <p>①路網と言われる林内作業道は、1 m², 000円程度からであり、一般道の建設に比べれば、遙かに安く出来る。天然林を対象にした路網整備は、大きな効果が期待できる。この際、雲南市単独でも、雑山を対象とした路網整備を全国に先駆けて実施してはどうか。</p> | |
| | | | 2. 企業誘致について | <p>(1)企業誘致体制について</p> <p>①今後の誘致体制を、具体的にどのように強化して行くのか。</p> | |

| | | | | | |
|--|--|--|----------------------------|--|--|
| | | | <p>3. 中山間地域直接支払い制度について</p> | <p>②県外にいる雲南市出身の学生、あるいはUI ターン希望者へのアプローチに、どのように取り組んでいるのか。</p> <p>③雲南市内の新卒あるいは転職等の求人状況と誘致企業及び地元企業の雇用と、どのように調整を図っているのか。また、雇用のミスマッチはないのか。</p> <p>(2)産業集積拠点の形成と企業間交流について</p> <p>①産業集積する具体的効果は何であるのか。</p> <p>②企業間交流会運営事業は、どのような成果を期待して、どのようなことをやろうとしているのか。</p> <p>(1)制度に対する認識について</p> <p>①この直接支払いについて、どう評価しているか。また、近年の集落の取組割合はどうなっているのか。</p> <p>②取り組み集落が減少している原因は何か。それに対して市はどのように対応しているのか。</p> <p>③今後、職員を削減していく中で、こうした地域に密着した現場対応は可能なのか。</p> <p>(2)制度の運用について</p> <p>①畦畔の草刈りは年3回以上、水路の草刈りは、年2回以上となっており、また、制度自体は年度で、そして税務上は暦年で運用されているが、義務の軽減、制度の改善の余地はないのか。</p> | |
| | | | <p>4 市長の市政運営について</p> | <p>(1)所信表明について 総合計画に沿って述べられた5点目について</p> | |

| | | | | | |
|----|----|------------------|---|--|--|
| | | | | <p>①ふるさと産業とは、どういったものを言っているのか。</p> <p>②それに対する対策として、雇用促進住宅の取得をあげているが、それが何の役に立つのか疑問である。改めて、具体的な振興策は。</p> | |
| 10 | 11 | 西村 雄一郎 (一問一答) | <p>1. 原子力事故防災について</p> <p>2. 三刀屋川の洪水防災について</p> | <p>(1)原子力安全協定について</p> <p>①原子力安全協定に対する雲南市の考えはどうか。</p> <p>②中国電力の考えはどうか。</p> <p>③島根県の考えはどうか。</p> <p>④①～③について雲南市としての評価はどうか。</p> <p>⑤情報連絡協定について取り扱いをどう考えるか。</p> <p>⑥他県の協定締結状況はどうか。</p> <p>(2)原子力災害広域避難訓練について</p> <p>①どのような訓練であったか。</p> <p>②円滑な避難を妨げる課題はなにか。</p> <p>③避難の経路、手段、避難先などを住民に周知し知恵を借りる考えはないか。</p> <p>(1)三谷川について</p> <p>①平成24年7月6日～7日の避難情報の発報状況は。</p> <p>②東町への避難準備等の情報提供はどうであったか。</p> <p>③所在する老人介護施設の状況はどうであったか。(被介護者、介護者の人数等)</p> <p>④その介護施設への連絡はどうであったか。</p> <p>⑤介護施設及び市の対処はどうであったか。</p> <p>⑥所管が広域連合の介護施設であるが今後の対策はどうか。(近隣、自治会、行政等)</p> <p>⑦三谷川の安全について、県への要望はどう考えるのか。</p> | |

| | | | | | |
|-----|-----|----------------|--|---|--|
| | | | | <p>(2) 大門町の氾濫対策について</p> <p>① 大門町への避難情報の発報状況はどうか。</p> <p>② 天神頭首工があり、そのために水位が上昇するのではないか。</p> <p>③ 天神頭首工を撤去するのは、川床、漁業権、農業水利権、下流部への影響等勘案してどうか。</p> <p>④ 増水時に倒れる頭首工とするのはどうか。</p> <p>⑤ 天神頭首工は完成後何年か。</p> <p>⑥ 大門町の被災状況から最速に改修に取り組むべきと考えるがどうか。</p> | |
| 1 1 | 1 2 | 土江良治 (一問一答) | <p>1. 原発事故による避難区域(30キロ圏内)の考え方と、日常的な避難先への学習他。</p> | <p>(1) 県は11月避難計画を発表した。雲南市の避難者人口33,350人、要援護者1,260人は半径30キロ圏内の同心円人口と解釈しているが、例えば、同集落内で線の内と外で分かれた場合はどうなっているのか。改めて伺う。</p> <p>(2) 10月24日原子力規制委員会は放射性物質がどれ位拡散するかを予測した「拡散シミュレーション」を公表した。16箇所の内、4箇所が30キロ圏内を超え、7日間で100ミリシーベルトに達する結果が出た。視察に行った福島県桑折町では60キロも離れているのに拡散の多大な影響を受けていた。シミュレーションは気象条件だけ当てはめたもので、地形は考慮していない。30キロ圏は便宜的なものであり、これに囚われることのない柔軟な発想で取り組む必要があると思うがどうか。(県の見解等)</p> <p>(3) 地震事故は時間を選ばない。日頃の避難ルート、避難先はどう市民に周知徹底を図るのか。</p> | |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | <p>(4)道路の渋滞が考えられる。その時の誘導方法はどのようにするのか。落石、路肩崩落等の発見と通報はどのように考えられるのか。</p> <p>(5)雲南市内に観光などで訪れておられる主として県外の人への避難方法、避難ルート、行動規範の周知方法はどのようにするのか。</p> <p>(6)広島県の避難先と雲南市民の必要最小限の日頃の付き合いは必要と思うがどうか。</p> | |
| | | 2. 新庁舎について | <p>(1)新庁舎の内容検討は大詰めに来ているように思える。審議に関わる人々にはパース図も示されているが、一般市民は蚊帳の外で姿、形が分かっていない。4月には広報紙面にパース図と現在検討中の項目位載せてみるのが、親切というものではないか。</p> | |
| | | 3. 平成26年11月1日の合併10周年事業の取り組みについて | <p>(1)式典の開催は当然として、「雲南市の歌」制定の他、老若男女に受けがいいNHKの「のど自慢」を加えてはどうか。よしとなれば、早く手を打つべきと思うがどうか。</p> <p>(2)市の自然を象徴する花木が選定されている。しかし市民の意識の中に定着していない。改めて何らかの方法で定着させるべきと思うがどうか。</p> | |
| | | 4. 温泉小学校が25年度限りで閉校となる。校舎の一部を「文化歴史資料館」(仮称)にすることについて | <p>(1)いま、日登交流センター上みの旧日登中学校校舎を利用した加藤記念館がある。その中に温泉からも提供頂いた民具・農具が整理と保存状態が不十分なまま山と積まれている。木次小学校校舎にあるものを含め、常時展示できないか。あのままでは宝の持ち腐れである。これらの処遇を問う。</p> | |

| | | | | | |
|----|---|-----------------|--|--|----|
| | | | <p>5. 医療と保健の融合による健康づくり拠点整備検討事業について</p> | <p>(1) 予算説明の中で「ケアポートよしだ」の温水プール利用の高齢者転倒予防事業の参加者が減ったため、対前年度減額予算の説明があった。詳細について伺う。</p> <p>(2) 本年度 20 万円の予算で調査活動に取り組むとされているが、具体的にどのような取り組みがなされるのか。</p> <p>(3) 膨らむ医療費の抑制が目的となっていて、理解できなくもないが、庁舎、病院と大事業が控える中、市民からの必要性疑問視が解消されたとは思えない。一旦落ち着いてから再提案されてはどうか。考え方を伺う。</p> | |
| 12 | 6 | 多賀 三雄 (一問一答) | <p>1. 市長の政治姿勢について</p> <p>2. 原発問題について</p> | <p>(1) 自治体の役割について</p> <p>① 歴代の政権によって地方の金が削減される中どんな市をつくっていくのか。</p> <p>(1) 避難訓練について</p> <p>① 1月26日の避難訓練の総括は。</p> <p>② 計画作成、準備、訓練にかかった労力(何人役)、費用はいくらか。</p> <p>③ 完全な計画作成、準備、訓練にいくらかかるか。</p> <p>④ その費用は国・県・市・電力会社の誰が負担すべきか。</p> <p>⑤ 廃炉、非稼働状態の場合の避難規模、費用はどれだけになるか。</p> <p>(2) 再稼働について</p> | 市長 |

| | | | | | |
|--|--|--|---|---|--|
| | | | <p>3. 国民健康保険料について</p> <p>4. 地域づくりについて</p> | <p>①完全な避難計画はいつできるか。</p> <p>②松江市長は周辺自治体の安全協定締結に反対し、福島事故の解明が条件と言っていたのに稼動に前向きになっている。どう受けとめるか。</p> <p>③即時廃炉にして、身近な治山治水、雪害対策などに力を注ぐべきと思うがどうか。</p> <p>④再生可能エネルギーで自立すべきと思うがどうか。</p> <p>(1)未納対応について</p> <p>①納入していない人の状況（人数、理由など）は。</p> <p>②資格証、短期証の発行、差押え件数は。</p> <p>③短期証のマル短表示をやめないか。</p> <p>④差押えは、どのようにして行っているか。</p> <p>⑤執行停止、不能欠損見込み、執行猶予の件数は。</p> <p>(2)国保料の引き下げについて</p> <p>①保険料の仮算定はどうなっているか。</p> <p>②重すぎる国保料を基金取崩し、一般会計から繰入・借入で1世帯1万円引き下げすべきと思うがどうか。</p> <p>③年々引き上げの背景には何があるのか。</p> <p>(1)地域自主組織の改編、総合センター縮小について</p> <p>①関係者の不安の声にはどんなものがあるか。</p> <p>②交付金が当面よくても将来維持されるのか。市財政悪化で、地域が負担することになりはしないか。</p> <p>③本来行政がすべき福祉・保育・給食・児童クラブ等のサービスを民間・地域に押付けることになるのでは。</p> <p>④市内の地域間にサービスの格差が生じるのでは。</p> | |
|--|--|--|---|---|--|

| | | | | | |
|----|----|----------------|----------------|---|--|
| | | | 5. 地方交付税減額について | <p>⑤何のための公務員か。</p> <p>(1)その内容と影響</p> <p>①地方交付税の職員給与分の削減をどうするか。</p> <p>②中期財政計画について基金が枯渇すると報道されたが、市民生活はどうなるのか。</p> <p>③市庁舎建設で将来の交付税を消費することになるのでは。</p> <p>④地方財政が苦しくなっていく背景には何があるか。</p> <p>⑤地方の金を減らすな、仕事を地方に移管するなら相応の金を回せと国、県に強く要望する考えはあるか。</p> <p>⑥そんな財政難の中、地方は最後に何を守るべきか</p> | |
| 13 | 17 | 堀江 眞 (一問一答) | 1. 清嵐荘の改良について | <p>(1)今回提示された実施計画に25年から26年にかけて矢印のみ書かれている。これは実施計画に載せたという事か。まだ載っていないと言う事か。</p> <p>(2)具体的な数字はいつ記載されるのか。</p> <p>(3)24年度当初で実施計画予定が諸般の事情で延期され24年度途中でも協議が整い次第、記載とのことだった。どんな協議がなされていたのか。</p> <p>(4)どんな新清嵐荘をイメージしているのか。</p> <p>(5)湯村温泉全体の施設と連携が不可欠と思うが考えを伺う。 (湯の上館 オーベルジュ ラーメンかいたん 川の中の露天風呂)</p> | |

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| | | | <p>2. 小滝空明碑について</p> <p>3. 湯村温泉の活性化策について</p> <p>4. 高速道路の開通を受けて</p> <p>5. 畜産振興について</p> | <p>(1)清嵐荘川辺の旧松林は現在どうなっているか。どこが管理しているのか。</p> <p>(2)島根歌壇の重鎮で、当時の吉田村をはじめ県下各地各界の有志によって建立された小滝（空明）遥先生の歌碑を承知しているか。現状をどのように思うか。</p> <p>(3)和歌発祥の地 雲南市として活用して行く考えはないか。</p> <p>(4)旧松林敷地の活用は今後どのように考えているか。</p> <p>(1)名湯「漆仁の湯」にこれまで数々の著名人が訪れて揮毫や作品を残している。 田能村直入、その弟子地元の本田直針雲溪、「砂の器」の松本清張、内籐伸の彫刻稲田姫像、松露亭作品数々、漆仁窯の作品群などなど幅広く公開し、キャプションを付けるなど展示してPRする必要が有ると思うが考えを伺う。</p> <p>高速インター開通で 県外からの訪れる人が大幅に増える事が予想される。 (1)国道314号から湯壺、清嵐荘への入り口が斜め交差の上に急坂発進が必要。かつ電柱など障害物で見通しも悪く再三事故が発生している。早期の改良を求められているが考えを伺う。</p> <p>(1)畜産を取り巻く環境が極めて厳しい。所感を伺う。</p> | |
|--|--|--|--|--|--|

| | | | | | |
|----|---|-----------------|---------------------|--|--|
| | | | 6. 寄付された民具の保管場所について | <p>(2)今年度の産業振興部の運営方針に繁殖和牛経営を推進・・・稲わら確保に向け生産体制の構築とある。</p> <p>①地元産稲わら確保が一番の課題と聞く。どのようにするのか。具体的な考え方を問う。</p> <p>(3)上山繁殖センターの利用者を求めていると聞く。</p> <p>①地元の農事法人で活用できないかという意見が有る。上山繁殖センターは和牛生産の最後の砦として設置されたと認識している。思い切った対策が必要と思うが考えを問う。法人が参入しやすい支援策は考えられないか。</p> <p>(1)現在、各地区でどのように保存されているのか。</p> <p>①民具の引き取りを要請されているが、保存展示する場所がない。壊すに壊されないものも有ると思うが、どこか全域的に保存する場所を作る必要が有るのではないか。</p> | |
| 14 | 8 | 佐藤 隆司 (一問一答) | 1. 第2次雲南市総合計画策定について | <p>(1)人口動向について</p> <p>①第2次総合計画が25年度から策定されるが、スケジュールではまず市の現状把握・課題整理をされるようになっている。平成17年国勢調査で44,403人であった本市の人口は、平成</p> | |

| | | | | | |
|--|--|--|--------------------------|--|--|
| | | | <p>2. 定住環境の充実と促進について</p> | <p>22年には41,927人と5年間で2,486人(5.6%)の減少となっている現実から、一番基本とされるのは人口動向と考えるが、どのように受け止めているのか見解を伺う。</p> <p>②我が国の全体における人口減少は少子化によるものであるが、本市の人口減少は若年層流出も主要因であると考えている(本市では全国平均に比して出生率は高い)。また、若年層の流出による出産適齢人口減少などで出生数が減少し、更に若年層が減少するマイナス連鎖の状態にもあるものと考えている。本市人口減少に歯止めをかけるためには、若年層への定住促進とその対策が不可欠であると考えているが見解を伺う。</p> <p>(1)企業誘致と地場産業育成について(働き場の確保)</p> <p>①第2次総合計画はこれからの策定であるが、喫緊の課題対策は常に施策展開しなければならない。そうしたことから、新たな企業団地の計画も示されたと考えるが、企業誘致を促進するための企業立地促進助成金は近隣市町と比較や進出企業者の期待に充分応えられる内容か。</p> <p>②企業立地促進助成金を拡充する考えはないか。</p> <p>③高速道尾道松江線の全面開通は平成26年度とされているが、その接続強化として必要なスマートインターの開設目標は定められているのか。</p> <p>④誘致企業に限らず地場産業・地元企業の事業展開の環境整備も並行して進めなければならない、そうしたことから現在ある流通団地の拡張整備も必要と考える。この度示されたアクションプランの3候補地と木次の流通団地との新たな道路開設が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>⑤工業用水や公共下水負担などが、企業活動に影響が生じていないか伺う。</p> | |
|--|--|--|--------------------------|--|--|

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| | | | | <p>⑥地場産業育成支援や中小企業の振興を促すために、中小企業振興基本条例の制定に向けて取り組まれようとしているが、ただ単に理念条例に終わってはならない。条例による実効性と即効性そして戦略につながるものでなければならぬが考え方を伺う。</p> <p>(2) 若者支援について</p> <p>①若者を定着させ、人口の減少を食い止めるためにはどうすべきか、若者の転入の促進を図るためには何が必要なのかなどを若者自ら話し合える『若者定住会議』を設置し、若者定住に向けての施策・事業の提言を積極的に展開し、第2次雲南市総合計画策定に反映していく考えはないか。</p> <p>②部局運営方針で結婚対策の強化を挙げられているが、結婚仲人への報奨金や結婚祝い金助成についても検討される必要があるが考えを伺う。</p> <p>(3) 子育て世代への更なる支援の充実について</p> <p>①1人でも多い新たな赤ちゃんの誕生を祝して出産祝い金の考えは。</p> <p>②更なる保育所保育料の軽減・無料化の考えは。</p> <p>③新たな子ども医療費助成は積極的な支援策であるが、最終目標とされる中学生まで拡充を目指すべきでなかったか。</p> <p>④加茂金丸団地、木次そら山団地、大東ふれあいの丘住宅団地は若い世代の入居者が多い。一方で日頃から親睦と交流など自主的な活動を通じ、安心安全な地域づくりや地域運営に寄与する集会施設は、その拠点施設としてなくてはならないと考える。市として現状把握と必要性について伺う。</p> | |
|--|--|--|--|--|--|

| | | | | | |
|----|----|----------------|---|---|--|
| | | | 3. 新庁舎建設について | <p>⑤今後、自治会組織の促進と集会所建設への取り組みについて伺う。</p> <p>(1) 基本設計について</p> <p>①現在示されている新庁舎の規模は、平成22年見直しでの規模算出となっている。平成26年度に見直される定員管理計画により規模の増減に影響はあるのか。</p> <p>②2月18日に開催された庁舎建設検討委員会はどのような位置付けで開催されたのか。</p> <p>③その委員会の質疑や意見はどのように集約するのか。</p> <p>④市民の多くが関心を持っている庁舎建設。必要最小限の庁舎建設を目指すことが必要であると考えますが、シンプルさには多少欠ける点があると思われるが見解を伺う。</p> | |
| 15 | 15 | 細田 実 (一問一答) | <p>1. 周辺地域の振興について</p> <p>2. 公契約と労働条</p> | <p>(1) 昨年選挙での声、選挙後各地で聞く声は周辺地域の寂れ、生活環境の改善の要望だ。総合センターの機能充実を求める声も聞く。どう対策してきたのか。また、今後どうして行くのか。</p> <p>①自治会が維持していけない。市立病院への交通の便向上を。災害時の不安等の声を聞く。 周辺地域の実態をどのようにとらえているのか。 市長はそうした実態をどうつかみ対策しようとしているのか。</p> <p>(1) 厚生労働省が発表した毎月勤労統計調査によると現金給与総額</p> | |

| | | | | | |
|----|----|-----------------|--|---|--|
| | | | <p>件審査。非正規労働者の処遇改善。</p> <p>3. 生活保護基準の引き下げと市民生活について</p> | <p>が1990年以降で過去最低。パートタイマーの増加が全体の給与を引き下げていると分析。</p> <p>公の施設の指定管理、業務委託等の公契約の適正な実施のため労働条件審査を取り入れるべきではないか</p> <p>①官制ワーキングプアが問題となっている。総務省は指定管理者制度の適正な運用を求め通達も出した。すでに社会保険労務士の協力のもと、指定管理者制度導入施設のモニタリング・評価制度を設けた自治体もある。住民サービス向上の視点で取り組むべきではないか。</p> <p>(2)市行政から率先して非正規労働者の処遇改善をすべきではないか。</p> <p>①同一価値労働同一賃金の原則を適用すべきではないか。</p> <p>(1)政府は生活保護を8月から段階的に引き下げることを決めた。このことは保護世帯だけでなく、連動している多くの制度にも大きく影響すると考えられる。市民への生活にどのように影響するのか。</p> <p>①生活保護切り下げは就学援助への影響が大きい。どう把握しているか。</p> <p>非課税限度額は生活保護の基準額を考慮して決められてきたが、どのように影響すると考えるか。</p> <p>その他、市民生活にどう影響すると考えるか。</p> | |
| 16 | 10 | 高橋 雅彦 (一問一答) | 1. 安心安全のまちづくり | <p>(1)防災対策について</p> <p>①雲南市の防災対策の現状について</p> | |

| | | | | |
|--|--|--|---|--|
| | | | <p>1)防災に対する取り組み状況は。</p> <p>2)防災訓練の状況は。</p> <p>3)市民に対する啓発活動の状況は。</p> <p>②原子力防災の取組状況について</p> <p>1)地域防災計画（原子力災害編）の概要は。</p> <p>2)1月26日実施された雲南市原子力防災訓練の状況と見えた課題は。</p> <p>3)地域防災計画（原子力災害編）に市派遣職員の意見が反映されているか。</p> <p>4)先般、市職員が派遣されている岩沼市の市長がこられ、お礼とともに派遣継続を要望された。市の今後の対応は。</p> <p>③防災教育について</p> <p>1)小中学校の防災教育の状況は。</p> <p>2)東日本大震災を通じて何を教訓に指導するのか。</p> <p>3)災害の種類によりその対応が違ってくると思うが、危機管理室として、どのように対処していくのか。</p> <p>④市長の大震災に対する思いと、まちづくりにどう生かされるか。</p> <p>(2)いじめ・体罰について</p> <p>①雲南市の状況について</p> <p>1)いじめ・体罰の状況は。またその判断基準は。</p> <p>2)発見した時の学校側、教育委員会側の対応は。</p> <p>3)被害者・加害者への対応と責任は。</p> <p>②いじめ・体罰に対する方針について</p> <p>1)社会問題となっているいじめや体罰について、どのような見識を持っているのか。</p> <p>2)特にいじめは隠れた部分が多い。学校での把握体制が極めて重要だが、どのように指導しているのか。また発生した</p> | |
|--|--|--|---|--|

| | | | | | |
|--|--|--|------------------------|--|--|
| | | | <p>2. 円安による支援策について</p> | <p>場合、どのような対処をするのか。</p> <p>3) 子供たちの世界はグループ所属意識が強く、教師との縦のつながりの信頼関係を強く築かなければ本人や知っている生徒は相談をしない。スクールカウンセラーの配置も必要だが、教師と生徒の信頼関係を築く学校運営こそ重要ではないか。</p> <p>4) 加害者・被害者がある中で、被害者側の心境は本人はもとより家族も非常に傷つく。ケアについてどう対処するのか。</p> <p>③いじめや体罰のない雲南市を築くために</p> <p>1) 大人の世界では、いじめや体罰はれっきとした犯罪となる。子供たちの場合、該当者の将来性を考え秘密裏に処理される場合が多く、手遅れになった時に不幸が起きる。暴力や誹謗は犯罪であることをもっと子供たちに教育すべきではないか。</p> <p>2) 平和宣言をしている雲南市にとって、いじめや体罰は平和を愛する心を踏みにじる行為であり、絶対に起こしてはならない。そのためには、市民あげて根絶のための「いじめ防止条例」を策定し、取り組む必要があるが所見を伺う。</p> <p>3) 最後に根絶のための意気込みを伺う。</p> <p>(1) 急激な円安により燃料や飼料代が高騰しているが、対策は検討していないか。</p> <p>① 今年の冬は雪は少ないが気温は低く、年金生活者にとって灯油代の急激な高騰は生活に直接影響する。実態把握とともに緊急支援対策を検討する考えはないか。</p> <p>② 雲南市の畜産状況は非常に厳しい状況が続いている中で、飼料代の高騰は畜産農家を直撃し、減少に拍車がかかる。JAと共に実態把握と、場合によっては支援策発動の考えはないか。</p> | |
|--|--|--|------------------------|--|--|

| | | | | | |
|----|---|----------------|--|--|--|
| 17 | 9 | 周藤正志 (一問一答) | 1. 市政運営の補完・補強について～ 「人口減少」「少子高齢化」「経済低迷」の状況に的確に対応しているか～ | <p>(1) 著しい人口減少への対応について</p> <p>① 県下 19 市町村の中で、人口減少が最も大きく、推計人口も 4 万人を切る状況下にあつて、所信表明等において何ら言及されておらず、あまりにも危機感が乏しいのではないか。</p> <p>② 特に若い人に市外へ出ず、逆に市外から呼び込めるよう「安い土地」を武器にした定住促進策(遊休市有地の活用など)をもっと積極的に展開すべきではないか。</p> <p>③ 人的・財政的に窮している自治会活動を地域自主組織との関係の中で見直していく時期にきているのではないか。</p> <p>(2) 急速な少子高齢化への対応について 「子育てするなら雲南市」のさらなる進展へ</p> <p>① 市立病院の院内保育所の拡充と補助(操出)増で、看護師等の確保と待機児童解消を図るべきではないか。</p> <p>② 地域との関わりを深める取り組みによって、もっと学校を地域の拠点にしていくべきではないか。</p> <p>③ 県と連携して、「こっころ」の拡充策を検討すべきではないか。</p> <p>「健康長寿・生涯現役」の豊富化へ</p> <p>① 秀でた知識・技能を有する高齢者を現役世代に対し活かす仕組みが必要ではないか。</p> <p>② 「生涯学習センター」を開設し、文化・芸術や趣味など高齢者の生きがいや老若男女の交流の場をさらに推進すべきではないか。</p> <p>③ 「買い物サポート協力店」の募集・認定だけでは買い物支援策として不十分ではないか。</p> <p>(3) 地域経済の底上げの対応について</p> <p>① 高速開通を目前にして、準備不足の感が否めない。何をメイ</p> | |
|----|---|----------------|--|--|--|

| | | | | | |
|----|------|-----------------|--------------------------|---|--|
| | | | <p>2. 財政見通しとその対処について</p> | <p>ンの売りにして、PR・誘客しようとしているのか。(ただ〇〇がありますだけでは、人は来ない。)</p> <p>②〇〇プロジェクトの取り組みは良いが、例えばスパイスは生産・販売とも下降しており、立て直しと支援拡充が必要ではないか。</p> <p>③「地域通貨」を生かす取り組みを検討すべきではないか。</p> <p>(1) 地方交付税確保について</p> <p>①一本算定を前に、先駆けて取り組んできた制度改正に期待したいが、政権交代により交付税総額削減に舵を切られ、気懸りである。どう対処するのか。</p> <p>(2) 中期財政計画と予算規模縮小について</p> <p>①平成 27 年、28 年と急激に予算規模が縮小する計画であるが、市民生活への影響を考慮すると激変緩和による段階的縮小とし、又、市民の理解を得る努力も今後必要ではないか。</p> <p>(3) 国保会計の財政基盤強化について</p> <p>①財政調整基金も取りくずしにより枯渇寸前である。財政基盤強化への道筋を示すべきだ。</p> | |
| 18 | 14 番 | 福島 光浩 (一問一答) | 1. 市政経営について | <p>(1) 新年度からの市政経営について</p> <p>①3 期目の速水市政を象徴する予算編成がされるものと期待していたが、これまでと同様に予算編成、市政経営方針から将来ビジョンを理解することが難しい。何を見据えどこに力点</p> | |

| | | | | | |
|--|--|--|---|--|--|
| | | | <p>2. 観光振興について</p> <p>3. エネルギーの地産地消について</p> | <p>を置いた予算編成なのか、わかりやすい説明を求める。</p> <p>②第2期総合計画の策定にむけて方向性が示された。総合計画の位置づけに対する考えと策定方針について伺う。</p> <p>③情報発信への取り組みを強調されてきたが一向に改善・改良の兆しがなく、体制も明らかになっていない。対市民・市外・庁舎内における情報戦略・方針は確立されたのか。また、今後の具体的な取り組みについて伺う。</p> <p>④将来を見据えた市役所職員の人財育成、またモチベーションが上がる組織マネジメントには取り組まれているのか。</p> <p>(1) 高速新時代を見据えた観光振興について</p> <p>①高速道新時代をむかえるにあたり、観光振興策について再点検しておく必要がある。雲南市の観光について現状分析と課題の整理はできているのか。</p> <p>②今年度から立ち上げられる観光研究会の位置づけ、役割は何か。</p> <p>③観光ビジョン・計画の策定と体制の構築なくして観光振興を図ることはできない。現状と、方針について問う。</p> <p>(1) 木質バイオマスの普及について</p> <p>①日本のふるさと再生への挑戦となる木質バイオマスエネルギーの普及に向けた取り組みが本番を本格スタートする。</p> <p>1) 需要施設へのチップボイラー導入の計画は。</p> <p>2) 現在計画施設へのエネルギー供給を行うことで合同会社グリーンパワーうんなんの経営は成り立つのか。</p> <p>3) 木質バイオマスの需要拡大のため、また全市的な取り組みとしていくためにも、民間需要の拡大が必要と考える。ストーブや農業用ハウスの加温施設などに向けた導入促進を図るべきであるが計画されているのか。</p> | |
|--|--|--|---|--|--|

| | | | | | |
|--|--|--|--|---|--|
| | | | | <p>4) 24年度はモデル地区として掛合・吉田で市民参加型収集運搬システムの実施と地域通貨（里山券）を発行しているが、実績と評価、また今後の展開について伺う。</p> <p>5) 本来の収入源である木材需要（建築用材など）の拡大をともに考えなければならないが、雲南市産材の利用促進計画はあるのか。</p> <p>(2) 再生可能エネルギーによる地域活性化について</p> <p>①木質バイオマスボイラーやマイクロ水力発電装置など、市内の企業などと連携した製品開発などに取り組み、産業振興、雇用創出につなげてこそその取り組みだが、現状と計画について伺う。</p> <p>②地域や各種団体にもマイクロ水力発電などへの興味また参加意欲がある。積極的に支援すべきであると考えているが、支援策・体制整備にむけた方針について伺う。</p> <p>③エネルギーの自給は、持続可能な地域づくり、また雲南ブランドを確立する上で重点的に取り組むべきである。推進には目標値を設定した具体的な計画、政策的な位置づけの明確化が必要だが方針を伺う。</p> | |
|--|--|--|--|---|--|